

アシカの「セイカ」が永眠しました。

7月2日 午後14：00にカリフォルニアアシカの「セイカ」が亡くなりました。
享年 18歳齢、突然の悲しい出来事でした。



「セイカ」は、
1991年 6月 11日に 長野市 茶臼山動物園で生まれ。
1994年 4月 26日におびひろ動物園へきてくれました。



それから、今年まで
合計 9頭もの赤ちゃんを生んできました。

7月2日 午前中、エサは食べなかったものの、
特に普段と変わった様子もなく、

その後、午後14：00に アシカ舎を見に行ったところ、
「セイカ」はずでに亡くなっていました。

最近の出産、またその後の経過も順調で、
解剖の結果も 主な病気、ケガ、出血のあとも見られず、

突然死だとみられています。

今年 6月26日に 生まれた赤ちゃんアシカは
早くもお母さんがいなくなりましたが、
これからは飼育係のみんなが代理の母親として、
この赤ちゃんアシカを見守り、育てていきます。

